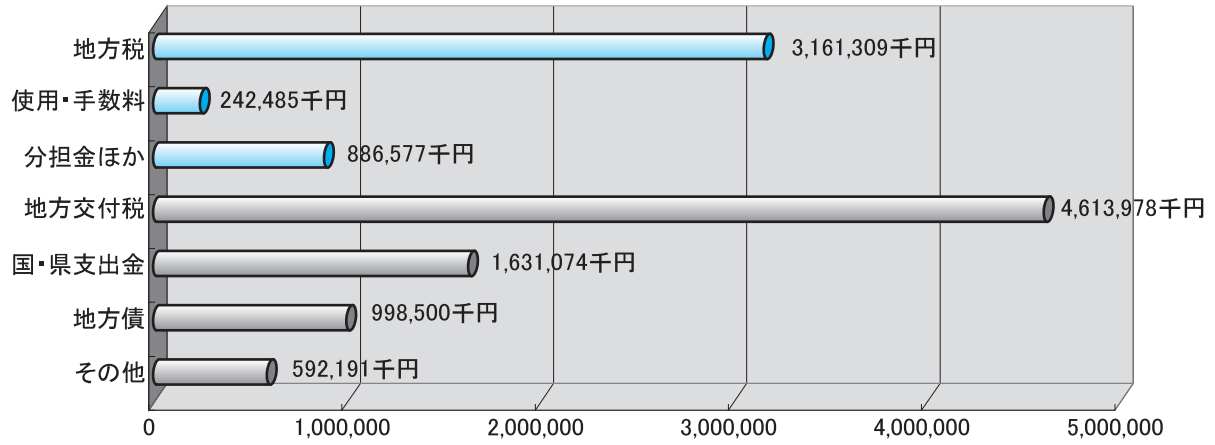
― 神埼市の財政事情 ―

市では、市民の皆さんに納めていただいた税金がどのように使われているか、市の財政状況がどのような状況にあるかをお知らせするために、毎年、財政事情を公表しています。
今回は、平成19年度最終予算（3月補正後）の状況をお知らせします。

○一般会計歳入最終予算（3月補正後） の状況



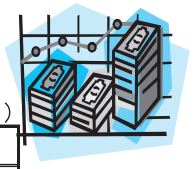
前年度決算額と比較してみると…

（単位：千円、％）

項　目	H19最終予算	構成比	H18決算	構成比	前年決算比	予算計上の主なもの
地　方　税	3,161,309	26.1	2,887,410	24.5	9.5	市民税、固定資産税、軽自動車税など
使用・手数料	242,485	2.0	252,142	2.1	▲ 3.8	市営住宅使用料、ごみ処理手数料、各種施設使用料など
分担金ほか	886,577	7.3	774,761	6.6	14.4	保育園保護者負担金、寄付金、基金からの繰入金、前年度繰越金など
地方交付税	4,613,978	38.0	4,922,562	41.8	▲ 6.3	地方交付税
国・県支出金	1,631,074	13.5	1,336,268	11.3	22.1	各種事業に伴う国・県交付金及び補助金
地　方　債	998,500	8.2	693,600	5.9	44.0	合併特例債等、事業実施に必要な資金の借り入れ
そ　の　他	592,191	4.9	914,299	7.8	▲ 35.2	地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金など各種交付金
合　計	12,126,114	100.0	11,781,042	100.0	2.9	
自主財源	4,290,371	35.4	3,914,313	33.2	9.6	（地方税、使用・手数料、分担金ほか）
依存財源	7,835,743	64.6	7,866,729	66.8	▲ 0.4	（地方交付税、国・県支出金、地方債、その他）

前年度決算額に比べ「地方税」が増えているのは、主に国の税源移譲によるものです。また、自主財源である「分担金ほか」が大きく増えているのは、前年度からの繰越金の増、各種事業を実施するために基金を取り崩して繰り入れたことなどによるものです。税源移譲などにより自主財源比率がやや伸びていますが、35.4％と依然低い状況にあり、自主財源確保への取り組みが急務であるといえます。

○基金（貯金）の状況

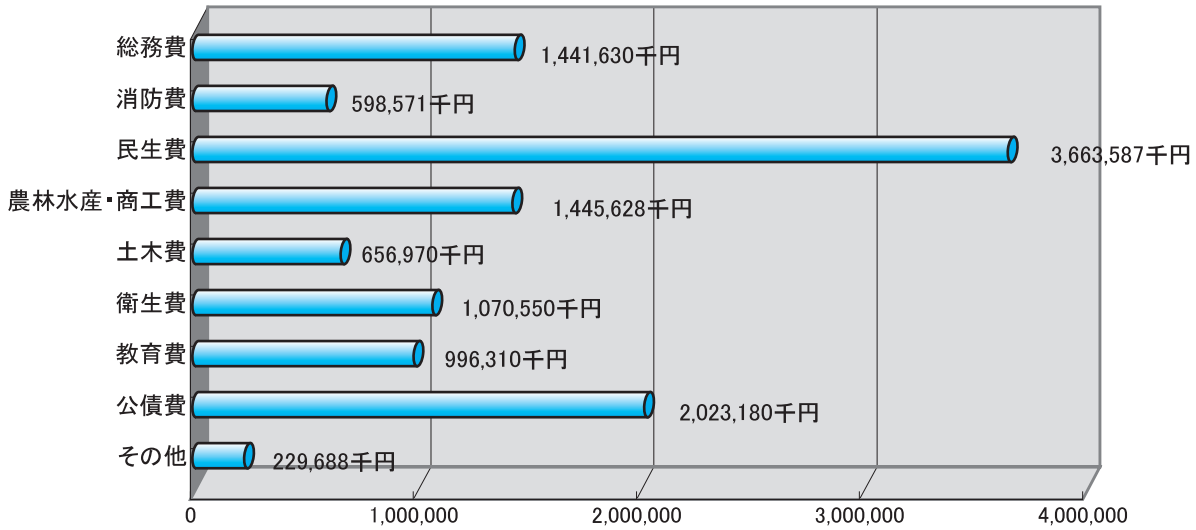


平成19年度最終予算後の基金残高は約17億円です。市民一人あたり約5万3千円となります。

（単位：千円）

種　類	内　容	H19最終予算額	H18決算額
財政調整基金	長期的な財源調整を行うための基金	515,325	513,685
減債基金	地方債償還に必要な財源を確保するための基金	516,578	362,631
特定目的基金	保育園建設等ある特定の目的のために積立てる基金	655,768	610,174
その他の基金	特別会計の基金	101,574	147,478
合　計		1,789,245	1,633,968

○一般会計歳出最終予算（3月補正後）の状況



前年度決算額と比較してみると…

（単位：千円、％）

項　目	H19最終予算	構成比	H18決算	構成比	前年決算比	予算計上の主な内容
総　務　費	1,441,630	11.9	1,915,966	16.6	▲ 24.8	庁舎管理や交通安全のための経費
消　防　費	598,571	4.9	588,264	5.1	1.8	火災や災害対策のための経費
民　生　費	3,663,587	30.2	3,095,998	26.9	18.3	子育てや高齢者のための経費
農林水産・商工費	1,445,628	11.9	1,216,390	10.6	18.8	産業振興のための経費
土　木　費	656,970	5.4	624,894	5.4	5.1	住環境整備等のための経費
衛　生　費	1,070,550	8.8	1,120,819	9.7	▲ 4.5	ごみ処理や健康管理のための経費
教　育　費	996,310	8.2	824,701	7.2	20.8	児童・生徒、社会教育のための経費
公　債　費	2,023,180	16.7	1,856,721	16.1	9.0	市の借金返済のための経費
そ　の　他	229,688	1.9	278,942	2.4	▲ 17.7	災害復旧や議会のための経費
合　計	12,126,114	100.0	11,522,695	100.0	5.2	

前年度決算額に比べ「総務費」が大きく減っているのは、前年度に基金への積立を5億6千万円行ったことが影響しています。また、「民生費」が増えているのは、ちよだ保育園建設、「公債費」が増えているのは高金利な借入分を繰上償還したことなどによるものです。全体で見ると前年決算額と比べて5．2％増の約121億円の歳出予算額となっています。

○地方債（借金）の状況

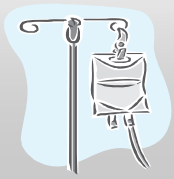
平成19年度最終予算後の地方債残高は約205億円です。市民一人あたり約61万3千円となります。

（単位：千円）

	会計別			合計
	一般会計	下水道会計	診療所会計	
H18決算額	16,797,843	3,985,858	10,410	20,794,111
H19最終予算額	16,163,340	4,352,415	13,887	20,529,642
増減額	▲ 634,503	366,557	3,477	▲ 264,469

○特別会計最終予算（3月補正後）の状況

【国民健康保険事業特別会計】
- 19年度最終予算額　3,822,519千円
- 18年度歳出決算額　3,246,314千円
- 前年決算比　17.7%増



【国民健康保険診療所特別会計】
- 19年度最終予算額　87,241千円
- 18年度歳出決算額　74,109千円
- 前年決算比　17.7%増

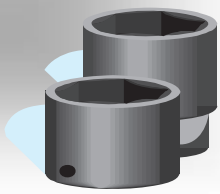
【老人保健医療特別会計】
- 19年度最終予算額　4,086,144千円
- 18年度歳出決算額　3,995,107千円
- 前年決算比　2.3%増

特別会計とは、特定の収入（国民健康保険税や下水道使用料など）で事業の支出がまかなわれている会計で、平成19年度では、5会計あります。

下水道事業特別会計には、公共下水道事業のほかに農業集落排水事業、特定地域生活排水事業が含まれており、長期計画の下、事業が進められています。

【簡易水道特別会計】
- 19年度最終予算額　3,121千円
- 18年度歳出決算額　3,972千円
- 前年決算比　21.4%減

【下水道事業特別会計】
- 19年度最終予算額　985,744千円
- 18年度歳出決算額　747,231千円
- 前年決算比　31.9%増



神埼市の財政は依然厳しい状況にあり、今後ますます厳しくなっていくことが予想されます。皆さんに喜び満足していただけるような市の実現のためには行財政改革は不可欠です。

財政運営にあたっては、収入に見合った支出規模を基本としたうえで、住民サービスの低下を招かないよう職員数の削減や、事務事業の細部にわたる見直し統合による経費の削減、また将来の神埼市を担う子どもたちに過大の負担をかけることのないよう借金の返済に力を注ぐなど、更なる財政の健全化に努めていきます。

予算書の閲覧は、財政課窓口でどなたでもできます。お気軽にご覧ください。

◎問い合わせ先　神埼市役所　財政課　☎37－0101